

⑤ 創業後間もない事業者への支援について〈拡充〉

【 現状の取組 】

- ◇ 創業促進事業補助金（事業所の改装費用・賃借料、法人設立費用を補助）
- ◇ 経営アドバイザー（中小企業診断士）による、創業計画書作成の支援
- ◇ 経営アドバイザーによる相談窓口・巡回訪問支援（巡回訪問についてはコロナ流行後実施を見合わせ）
- ◇ 創業セミナー
 - ・女性向け起業セミナー 年3回（ファーストステップ2回、ステップアップ1回）
 - ・創業希望者向け誘致セミナー 年1回
 - ・大学生向け創業セミナー 年1回
- ◇ 創業融資利子補給制度
- ◇ 創業支援ネットワークによる支援

【 課題 】

- ・事業を始めるまでの支援制度は複数あるが、事業が軌道に乗るまでの支援、事業を始めた後の節目（半年、1年など）での支援やフォローアップが実施できていない。
- ・相談窓口の多くは創業前の利用が多く、創業後の経営相談の利用人数は少ない。
- ・創業補助金を利用した事業者の中には、茨木市で創業したものの、その後近隣市に事業所を移す事業者が見受けられる。
- ・女性向けセミナー受講者に対するアフターフォローが実施できていない。
- ・属性に特化した支援制度が少ない。

【 今後の方向性 】

- ◇ 事業開始後の支援策の充実（伴走型支援）

支援制度の充実により、創業者の短期間での廃業や市外移転をできる限り少なくする。

 - ・経営アドバイザーによる巡回訪問の再開。
 - ・創業補助金を利用した事業者については、定期的（半年に1回程度）にヒアリングを実施し、必要に応じて優先的な巡回訪問や相談窓口の紹介を行う。
 - ・事業者が気軽に参加できる事業者交流会の開催や、交流拠点の整備（「資料 3-4 事業者の交流・PRの場の提供について」と連携）を行う。
- ◇ 対象に特化した支援及び更なる創業ニーズの掘り起こし

女性の創業者への支援を充実させるほか、さらなる創業ニーズの掘り起こしをめざし、女性以外の属性に特化した支援制度についても充実を図る。

 - ・女性の創業者…女性ならではの悩みを相談できるほか、仲間づくりができる交流会 LED 関西等、ステップアップを目指す人への情報提供や支援
 - ・創業ニーズの掘り起こし…大学生、留学生、シニア 等